

平成29年度 産業廃棄物税基金充当事業 実績報告書

事業名：循環型社会に貢献できる産業人材育成事業（白石工業高校）

事業実施期間：平成29年度から平成31年度

担当課室名：高校教育課

担当班名 キャリア教育班 TEL： 3625

e-mail ko-kogyo@pref.miyagi.lg.jp

1 事業の目的

産業廃棄物の再利用・有効利用を含めた、循環型社会に貢献できる技術者・技能者を育成する。また、廃棄物の発生抑制や、リサイクル産業の振興並びに循環型社会について、専門高校生として取り組むことのできる実践や基礎的研究を各関係団体からの支援を受け行う。

2 当該年度の実施事業の概要・実績

『解体木造建築物の構造材再利用促進の基礎的研究事業』

木造建築物を解体する際に排出される各種部材から再利用可能な部材を採取し、その材料を使用した木工製品の設計、製作を行った。特に今年度は、ものづくりの根本である『誰かのためのものづくり』を念頭に置き、近隣の児童向けに『木材を活用したおもちゃ製作』を主に以下の事業に取り組んだ。

○地域の保育園児、幼稚園児用の木製玩具の製作

(みのむしおもちゃ2個、タングラム2個、ハンマートイ1個、釣りおもちゃ1個、パズル9個、マンカラ2個、動物シーソー1個、カラカラおもちゃ2個)

○地域の保育園児、幼稚園児用の小椅子の製作(10脚)

○伝統工芸『組子』を活用した小物製作(ティッシュケース2個、小物入れ1個、コースター6個)

○鉋の削りくずを活用した削り花の製作(200輪) ○木製キーホルダーの製作(400個)

○部活動で使用するベンチの製作(4脚・茶道部お茶会用) ○3人掛け用ベンチ(8脚)

○木製カヌーの製作(1艇) ○産業廃棄物の処理状況や再利用活用状況を学ぶためのリサイクル工場の見学

○専門講師による設計・製作工程を通じた実践的学習により、地域環境に配慮した人材育成を行った。

3 当該年度の実施事業の成果

○廃材を活用した木製玩具18個(釣りおもちゃやタングラム、各種パズルなど)と木製イス10脚を製作し、白石市内の幼稚園(第二幼稚園、あそびの森保育所)に寄贈し、環境教育と幼児教育に役立てた。

○製作した製品を寄贈し利用していただくことで、ものづくりの果たす役割を理解するとともに、地域社会への貢献が図れた。志教育の発展にもつながった。

○工場見学や専門技術者からの実践的な学習を通し、将来の地球環境に配慮した産業活動に関与できる人材の育成が図られた。

○地域の産業廃棄物処理企業や工務店、木工職人などとの連携・協力体制が構築できた。

4 今後の展開

○今回の実践をとおり、地域の各種団体や企業との連携・協力体制の構築が必要不可欠と感じた。そこで、専門的技術指導の講師確保や、解体材料を提供いただく企業、各種現場見学先などを確保するため、今後も学校と地域との連携・協力体制を維持していくことが継続的な人材育成を図るために必要であり対応していきたい。

○今後も廃材を活用して製作した木製玩具や家具等を地域で活用いただけるよう、各種団体(市町村や町内会)や教育機関(幼稚園や保育園、小学校など)などと調整を行い、循環型社会を考えた地域連携の輪を広げていく。

5 廃棄物の削減・リサイクル、適正処理の促進の効果等を示す指標の数値

(指標：関連授業時数)

単位：時間

平成29年度				
156				

6 事業費の推移

単位：千円

平成29年度				
1,633				